

第5回中央ろうきん友の会 西多摩支部定期総会

～～ おかげさまで、多くの会員の皆さんに参加して頂き、無事終了しました。～～

9月24日(水)会場のろうきん西多摩支店の2階に会場に、32名の会員の皆さんが参加して下さり、総会も無事に終了致しました。貴重なご提言、ご意見が多く出され、今後の活動に活かしていきたいと思えます。

その後、懇親会に移り、宮崎さんの司会のもと、和気藹々の雰囲気の中で、親睦を深めることが出来ました。来年度は、多くの会員の皆さんの参加を期待しております。

吉川友の会会長挨拶

「支店の支店長さん、次長さん、職員の皆さんのご努力により、会員が580名以上になりました。感謝です。残念ながら、配賦金は、従来通りですので、厳しい予算の中で、会員の皆さんに楽しんで頂く活動を模索していきたいと考えます。バス旅行は、参加費を5000円にし、正会員優先にして頂きます」

森井西多摩支店支店長挨拶

「第五回定期総会おめでとうございます。お蔭様で新システム移行も無事完了いたしました。現在支店では「秋のどくとくキャンペーン」を実施中です。支店としても、友の会の活動に全面的に協力し、バス旅行、学習会、会報発行等、協力して行きたいと考えています。」

定期総会は、堀内さん司会で進行 座長に、宮崎さんを選出。早速 議事に入りました。井口さんの提案により、13年度の活動報告、石橋次長さんより、決算、新井さんの監査報告、14年度の活動計画、予算案(今年度の予算額は、480,234円)、11月のバス旅行(河口湖方面)、役員改選等、順調に進行しました。

新役員の遠藤さんの挨拶。お客様サービスセンターの濱野さんの紹介、ご挨拶を頂きました。

出されました主な意見・質問 それへの回答

- ・繰越金が減って来て、将来的に予算が厳しくなるのでは？ ⇒ 友の会本部も厳しい予算で、今後配賦金が増える可能性は少ない。なんとかやり繰りしていくしかない。西多摩支店からもご厚意で補助してもらっている。
- ・バス旅行も、昨年4000円になり、今年は1000円アップとは？ ⇒ 西多摩支店の持ち出しも多い中、申し訳ない。西多摩友の会は、以前は3000円からスタートした。そして現在がある。他支部では、旅費実費負担が多くなっている。
- ・バス旅行は、正会員に限らず、未加入者の参加も考慮したら？未加入者については実費負担で募集ではどうか？ ⇒ 支部配賦金は、会員の皆さんへ還元することが原則です。参加される方は、是非、加入して頂きたい。
- ・友の会として、加入促進はどうしているか？ ⇒ 「個人情報」のこともあり、ろうきんが中心となって現職への働きかけを精力的にやっております。是非、皆様におかれましては、お知り合いの方等への声かけをお願いします。
- ・夫婦の場合、申し込みははがき1枚が良いのか？ ⇒ 1枚で大丈夫です。未加入の方の場合は、旅行までに加入手続きをいただければ大丈夫です。
- ・労金の「古希祝い金」は、米寿にはないのか？ ⇒ 今年度から取り組みですので、ご理解頂きたい。今までは、ポイント制でご利用者への還元行っておりましたが、昨年廃止されましたので、今年度からの取り組みです。来年以降も引き続きお取引の感謝を表わす施策を行って参ります。

初めての取り組み「懇親会」

宮崎さん司会 恩田さんの音頭で「乾杯」懇親会がスタート。3テーブルに分かれ、自己紹介、会へのそれぞれの想いを出して頂きながら、親睦を深める会になりました。会員の皆さんから、次回から、参加者は、胸に「名札」を付けたら、お互いの名前も分かり、良いのではと、提案も頂きました。

段上前顧問への感謝状

昨年年末に、段上増雄前顧問に、ご退任に際して友の会より「感謝状」を贈呈させて頂きました。友の会総会で会員の方から声が上がリ、早速、支店長、次長、井口副会長、吉川の4名で、段上さんのご自宅に訪問し、感謝を込めて贈りました。ご本人は大変お元気で、非常に喜ばれておいででした。

(文責 吉川)

【記念講演】

~~~~~高齢者を狙った犯罪の防止について~~~~~

福生警察署生活安全課 警部 北島さん 藤井さん

====振り込め詐欺撲滅====

最初に、講習用DVDを見ました。
～落語家の三遊亭小遊三師匠解説



「オレオレ詐欺の巻」

実話を元に編集。犯人 ⇒ 家庭の固定電話に掛けて来る ⇒ 携帯電話の番号変更を言う ⇒ 後日、助けてくれ！の電話 ⇒ ここで、必ず、子どもに電話を入れて確認すること ⇒ 犯人の手口を知ること ⇒ 家族で、対策を話し合っておくこと ⇒ 行動を起こす前に、事実を確認すること。

「還付金詐欺」

医療費還付がある ⇒ 手続きが必要とATMに誘い出す ⇒ そこで、指示され送金してしまうケースが多い。
還付金など、ATMに振り込むことは絶対ありません。役所、金融機関、勤務先、警察等に連絡を

注意点その1

人間の心理をついて来る ⇒ 「私は大丈夫」と思っている、いざ、電話が入るとパニック状態になる。
演技により洗脳される ⇒ 必ず電話等で子どもに確認する ⇒ 振り込めというより、直接に受け取りに来る。

特殊詐欺の発生数

都内8月31日までで、件数1,448件。51億4,900万円の被害。年間650億円の被害とされています。
福生署管内 19件。 6,900万円の被害。うち3件の犯人を逮捕。

注意点その2

福生警察署管内の発生被害は、全て「手渡し」で行なわれています。主犯がいて、受取人は別人。雇われて指示されて動いているので、主犯にたどり着かないことも。

三つの大きな誤解

1. 息子や孫の声くらい判る ⇒ 聞き分けられない筈がないと思込み、9割の被害者が「息子の声くらい判る」「自分はだまされない」と、思い込んでいました。
2. 普段からやりとりしているから判る ⇒ 煩雑に、会ったり、電話したり、同居しているからという安心感。
3. うちにはお金がないから大丈夫 ⇒ 親は、子どものためなら何とか工面を。親心をくすぐられる。

親心スイッチと被害防止 ⇒ 普段から家の電話は「留守番電話」に設定しておく。

犯人の手口に乗らないために

1. あわてない。
2. 事実を確認する。
3. 直ぐに、お金を振り込まない・渡さない。
4. 警察に通報する。⇒ 福生署の北島さんにすぐ電話
5. 家族や友人に相談する。

警視庁ではご年配の方だけでなく「アクションプログラム」として、企業の協力を得ながら若い世代へ注意喚起の取組を行っている。親への電話を、進めています。

今回の記念講演は、福生警察署の現場で、「高齢者犯罪被害」に取り組んでおられる方が、日々、直面している事例に基づいて熱心にお話をして下さいました。「自分だけは大丈夫」と、安心して居られない程、犯人達の手口が、巧妙になって来ているようです。被害を受けてからでは、遅過ぎます。十分に、こころして、安全な生活を送りたいものです。また、こんな課題を取り上げて欲しいということがありましたら、連絡をお願いします。これからも、「有意義な記念講演」を企画していきたいと思っております。また、サークル活動など友の会の活動に関してご意見ございましたら合わせてお寄せください。

(文責 吉川)